

社 会 科 部 門

総 評

全作品（212点）を通じて、研究のきびしさ、苦しさ、そして喜びが作品内にみられる。また、研究の仕方が身につけており、昨年よりレベルが向上しているように思われる。

しかし、研究した中身を分析し、それを通じて、学んだこと、気づいたことに対するまとめが甘い作品や、自分の手足を使って集めた資料ではなく、単に本などから引用した資料にたよりすぎているよう

な作品も、一部見うけられた。

その中で、今回優秀作品として選出された作品は、どの作品においても、研究のねらいと方法、内容、表記の仕方に、学年に応じた深さというものが感じられる。

また、どの作品からも、長時間かけて汗水たらして勉強した様子がありありと伝わってくる。

今回掲載した作品を参考にして、次回も今年以上の力作が多数応募されることを期待したい。

入賞者一覧

○最優秀賞

「文京区の研究（全6冊）」

東京都文京区立誠之小学校 4年
川村 智子

○優秀賞

「東京0メートル地帯の防災対策」

東京都千代田区立一橋中学校 1年
小林 才

「天神川絵地図（長良の用水ろしらべ）」

岐阜県岐阜市立長良小学校 3年
斉場 千鶴

「美の和紙をつかった『もようぞめ』」

岐阜県岐阜市立三輪南小学校 3年
中村 智子

○優良賞

「ももぶどう岡崎へのたび」

愛知教育大学附属岡崎小学校 2年
田中 平

「長良の農業」

岐阜県岐阜市立長良小学校 5年
田中 修史

「新井田・馬淵川は八戸を創った」

青森県 私立白菊学園小学校
第6学年一同

「浜川小学校50年の生いたち」

東京都品川区立浜川小学校 6年
内山 貴晶

○優良賞（つづき）

「義経は平泉で死んだのか」

宮城県仙台市立八本松小学校 6年
山内 彰

○佳 作

「世界の国々と国旗」

（愛知）愛教大附属岡崎小 2年 若山 佳之

「野川」

（東京）成蹊小 4年 岩倉 由佳

「火事をけす人々」

（岐阜）那加第三小 4年 福井 浩二

「魚の流通経過」

（栃木）宇都宮大附属小 5年 福田 美果

「30年位前の給食」

（東京）浜川小 6年 鈴木 美穂

「歴史新聞」

（東京）誠之小 6年 田中 春子

「衣食住の歴史」

（栃木）宇都宮大附属小 6年 青柳 緑

「サウジアラビア国の歴史と現在の様子」

（広島）五月が丘中 1年 本多 夏美

最優秀賞受賞作品

文京区の研究(全6冊)

川村 智子

東京都文京区立誠之小学校 4年

指導者 目賀田 八郎

● どうしてこの研究をはじめたか 私は、三年で文京区のことを勉強することを知っていたので楽しみにしていました。二年の時から文京区についての資料を読んでいたのです。とてもおもしろかったのもっと文京区のことについて、くわしく調べたいと思いました。



● 研究のやり方 学校が早く終わった日の午後や、日曜日やさい日、春夏休みを使うことにしました。一人ではいけない場所には、お母さんについてってもらいました。その場所へ行ったしょうこに写真をとることにしました。行く前に資料をよみ、六十分の一の地図でよくたしかめました。

● 文京区あらまし (調べたこと) (抜すい)

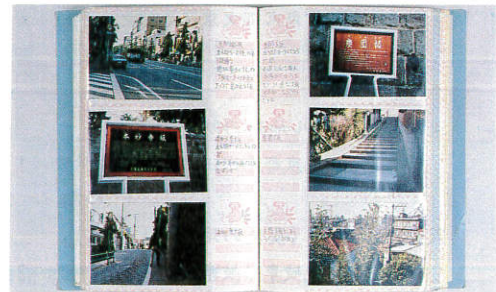
② 地勢 文京区の地勢は、なだらかな台地の間に河谷(川の流によってつくられた広い谷)がはさまれており、山の地域の地勢の特徴をよく表わしています。(略)したがって、台地面と谷底の高度差は14.5~20メートルにもなるため、その境界の斜面は坂になっています。この坂道の多いことが文京区の地勢の特徴といえます。



● 歩いてみて (抜すい)

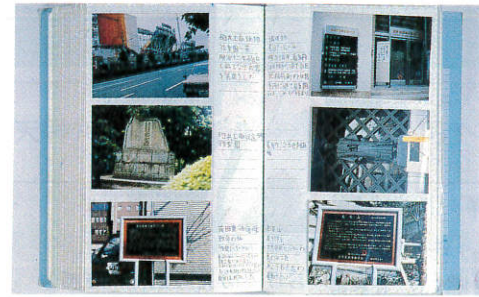
② 本郷地区

1. 医りょう機械屋が多い。
2. 旅館が多く、旅館街だった。そこには修学旅行の生とがとまりにきている。
なぜか——都心に近く、東大にも近く、静かで環きょうがいいから。
3. 学校が多い。
4. 古本屋が多い。
5. 下宿屋もあった。
6. 古くからの家があった。せん争でやけなかったところもあった。 このことの感そう。昔の家の様子がわかってよかった。
7. 昔の町。
8. 住宅が多い。
9. 休日と平日のちがいはない。



⑩ 白山通りを歩いて (本駒込六丁目から水道橋まで) 長さ5.9km。

1. 白山まではマンションは少ない。
2. 小さな商店が多い。
3. 後樂園、講道館という有名な場所があった。
4. この通りは昔からの道だった。(中仙道)
5. 江戸時代は千川上水が通っていた。
6. 薬師坂を下るとマンション、会社、商店が多くなっている。
7. 放しや九号線ができたので、白山通りの一部が変こうになって、昔からの通りは(本駒込二丁目~白山下)、旧白山通りになった。
8. 新しい白山通りは中央分りたいに木が植えてあって、道はばが広くてあまり人気(ひとけ)がない。会社、りょう、学校などがあって、商店街はないので、平日でもあまりにぎやかではない。



● くふうしたこと

1. 大きな通りにそって歩いた時は、道路の両側の建て物や施設を写真にとりながら歩いた。
2. $\frac{1}{6000}$ の地図を8つに分けて、コピーしたのを使った。歩く時は持って行く地図の中だけ歩いた。
3. 史せきめぐりの時には、行く場所と番地を本からうつして、地図といっしょに持って歩いた。行く前に歩く順番通りに番号をつけた。
4. 行く前に文京区の本をよく読んでから行った。帰ってからすぐ整理した。
5. 文京区についての本、区役所から出ているいろいろな印さつ物などを、たくさん集めておいた。
6. 実さいに何km歩いたかを知るために、マップメジャーを使って、 $\frac{1}{6000}$ の地図ではかった。

● こうなるといいと思うこと

1. どの坂にもどの史せきにも、全部案内板を出してほしい。
2. 文京区の境界線を道のまん中で分けてほしい。
3. 名前のない坂に名前をつけてほしい。
4. 大きな通りにこれより文京区というしるしをつけてほしい。(白山通りの巣鴨と本駒込の間など)
5. なくなった小学校の所に案内板をだしてほしい。(富士前小学校、追分小学校、御殿町小学校)
6. 神田川がきれいになってほしい。
7. はい気ガスがでないようにしてほしい。
8. 緑がこれ以上へらないで、もっとふえた方がいい。
9. 電線を地下にうめてほしい。

● 研究を終わって

今ふりかえてみると、約一年半かかってこんなにたくさんのきょりを、そしていろいろな場所を歩

いたと思います。

雨がふった日には、かさをさしていくのが大変でした。道をまちがえたり、写真のとりなおしなどで何回も同じ所へ行ったので、どの場所へも二回は行ったことになると思います。

大変なことばかりではなく、楽しいこともありました。春には公園や学校の桜がきれいだったし、秋には芭蕉庵や蕉雨園の所を通るともみじがきれいでした。

わたしは文京区に生まれてよかったと思います。それは文京区には学校があったり、史跡がのこっていて、昔からのれきしがよくわかるすてきなところだからです。このような史跡を、大切にしなければならぬと思います。そのためには、文京区のことだけではなく、東京都のこと、日本、世界のこと、またそのれきしを調べて、いろいろなことを知ることが大切だと思います。だからもっと勉強をしなければいけないと思います。



選 評

学校での勉強が、日頃からよくなされているようで、観察、研究するための基礎が、しっかり身につけているようです。

この作品は、自分の住むまちを、愛情をもって根気よく実際に自分で歩き、そこで見たこと発見したことなどを工夫して整理がなされています。また、まとめにおいても、何を言わなくてはいけないか、研究を通してどんな事を考えなければいけないかなどが、はっきりしています。そこに、まとめにじゅうぶん時間をかけていることがうかがえます。

この作品は、継続の結晶と言える、代表的な作品です。

優秀賞受賞作品

東京0メートル地帯の防災対策

小林 才

東京都千代田区立一橋中学校 1年

指導者 佐々木 博

●動機 東京0メートル地帯といわれる江東区は、大都市東京の東南部にあり、江東デルタ地帯といわれている。又、そのデルタ地帯は、災害に弱いともいわれている。では、そこが大災害となった場合、東京は一体どうなるのだろうか？ 現在、区役所を中心に災害に強い町作りをめざしているが、私自身もこの研究を通して、災害時の対応のし方を自分なりに行動できるようにしたい。



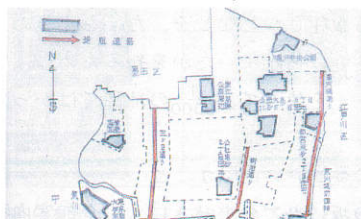
●内容 ①東京の0メートル地帯の地盤沈下の様子 東京の0メートル地帯は、隅田川と荒川にかこまれた地域で工業用水をくみ上げることで地盤が沈下した。一時ものすごく沈下したことがあったが今ではほとんどみられない。 ②0メートル地帯の様子 この0メートル地帯をみると水面よりも土地が低いために、たいこ橋をつくったり、堤防を高くきずいたりしている。運河は交通や貯木につかわれている。木場は現在も貯木しているところもあるが、ほとんどが新木場にうつった。それは災害を防ぐためでもある。 ③0メートル地帯における災害 0メートル地帯の災害の様子は、昭和24年におこったキティ台風による水害を体験したおじいさんにその話をきいてみた。それによると、短時間で首まで水につかってしまった。堤防がくずれてしまい、貯木されていた木が流れ出てしまった。さらに3日たっても水が全部ひかなかったとの事であった。低地でくらししている人々は、いつ台風や地震などの天災がおそってくるかわからない自然にどう対応していくか、対

策を立てながら心配しているのではないだろうか。



④0メートル地帯における防災対策 (省略)

⑤0メートル地帯における防災対策 防災対策は、区と民間の間で行なわれている。区では、避難場所と避難道路を定め、道路に避難場所を示したりしている。また132ヶ所の公共施設と民間の空地を指定防災空地として指定している。民間では、民間防災組織をつくり、災害協力隊と市民消防隊が災害時に活躍するようだ。住宅などでは水害時に道路が水びたしになった時に、家の中に水が入らないように1階をつくらず、2階から住居といった建物(下駄ばき住宅)が多くみられる。しかし、避難所は、はたして一時的な避難場所として適当であろうか？



●結果 江東区では防災対策として、避難場所や、避難道路を定めたり、備蓄物資を用意したりしている。民間では、民間防災施設や下駄ばき住宅を作ったりしている。しかし、いざ災害が起った場合、指定された避難場所に38万人もの区民が、避難道路をたどって避難できるだろうか？ いざという災害に地域の人々がどう対応するかという大きな問題が、ここにかくされているように思われてならない。

選 評

研究において基本的なもの(動機・内容・方法・結果・まとめ・反省)を身につけている。中学校の地域学習で、何をどう学ぶのか、そこから何をとらえるのか、それを通じて自分は何をしたらいいのかという、中学一年生の学習のテーマにそった作品である。

優秀賞受賞作品

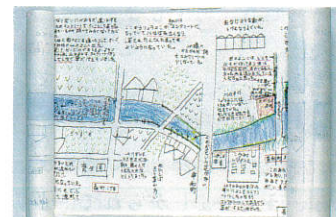
天神川絵地図(長良の用水ろしらべ)

齊場 千鶴

岐阜県岐阜市立長良小学校 3年

指導者 木村 善美

●しらべてみたいと思ったわけ わたしは友だちとよく天神川へざりがにをとりに行っています。そのとき、どこまでつづいているのかなあとってしらべたいと思いました。それで絵地図を作りました。 ●しらべたいこと ①天神川は、どこからどこまでか。②長さはどのくらいなのか。③川はばのほそい所と広い所。④どんな草がはえているのか。⑤天神川は、どんなやくにたっているのか。⑥まわりのようすと天神川のようす。⑦用水ろのしくみ。川の近くの草花も少ししらべてみました。



●わかったこと ①天神川は山のふもとからはじまり(上流)鳥ば川へ合流している。②天神川の長さは、東から流れて西まで3728mでした。③天神川はあまり深い所はありませんでした。水門がしまっている所は深くて流れがありませんでした。④山のふもとのばはは1mだったが、だんだん広がって一ばん広いところは13mになっていました。⑤田が多いところは田へ水を流し、家が多いところにはどぶ川の流れ口になっていると思いました。

選 評

実際に、自分でよく歩いて調べ、資料を集めています。ただ、もっと大切なところの観察(たとえば、家の集まっているところのようすや川の流れにそって、どのように土地が利用されているかなど)を行なえば、もっと良い作品になったと思います。

優秀賞受賞作品

美の和紙をつかった「もようぞめ」

中村 智子

岐阜県岐阜市立三輪南小学校 3年

指導者 武藤 信一郎

●動機 私が、おじいちゃんと紙の話をしていたらおばあちゃんが、「智ちゃん『色ぞめ』をおしえてやろうか」と言いました。「色ぞめって何」ときいたら、「美の和紙を色こでそめて千代紙みたいなやつをつくるんやよ」とおしえてくれました。それで私は、おばあちゃんの家にある美の和紙で「もようぞめ」をつくってみました。

●内容 用意する物 ①和紙(手すきの物)②糸(もめん)③せんめんき④色こ(そめたい色)⑤きりふき

和紙をそめる

①「しほり」ぞめ ②「おり」ぞめ③「もみ」ぞめのやり方を教えてもらいました。まずさいしょには、紙をきりふきでぬらします。気をつけることは、はしっこまで全部ぬらすことです。



●まとめのかんそう 美の和紙は、おじいちゃんに教えてもらったとおりに、たいへんじょうぶい紙なので、おどろいてしまいました。でもあまり美の和紙のことについてよくしりません。これから美の和紙について、もっとたくさんしらべたいと思います。

選 評

3年生らしいよい作品です。おばあちゃんにおしえられた「美濃和紙のもようぞめ」を、実さいにやってみて、どのようになったかを、まとめ上げているところがいいです。